

12月号  
vol. 226



まちびと 特集

# 探検

子どもたちに届けたい  
「しっかり食べや」が描く  
地域の未来

第7回

1199

## 第7回

子どもたちに届けたい、  
「しっかり食べや」が描く地域の未来



探検

西成区北西部地域で住もう・働く

10代～30代の若者たちが、  
各地の先進事例から「まちづくり」を学ぶため  
地域を飛び出し、街や人を探す旅にでる。  
若者たちの視点から見た北西部地域の課題や  
各地で行われているまちづくりを探ってみよう。

今回は、今年4月に設立された一般社団法人にわフードバンク「しっかり食べや」の理事長・松岡賢司さんを訪ね、設立のきっかけや想い、子どもの貧困問題やフードロス問題についてなど生活困窮者支援の現場で活躍される方々のリアルな声を赤裸々に語っていただいた。その貴重なお話から西成区の課題や僕たち若者が地域の未来にどうかわかっていけるのかを考えていきたい。

## 設立の背景—— 「想いをカタチに」した 新たな挑戦

磯 まずフードバンク「しっかり食べや」の普段の取り組みについて教えてください。

松岡 我々は食品を扱う企業から個人まで、まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品を集め、子ども食堂を運営している団体や様々な事情で食に困っている子どもたちや若者、ひとり親家庭、福祉施設などにそれらを届ける活動を行っています。

もともと、私は生協(生活協同組合)におさ

かバルコプの役員で7年前から子ども食堂の取り組みを行っていたんですが、生協の事業だと定款の関係上活動エリアの制限がありました。

磯 大阪府下の中でもエリア分けされてるんですね。

松岡 私の所属していた生協のエリアは大阪市内と北河内7市(枚方市・寝屋川市・守口市・門真市・大東市・四條畷市・交野市)。北摂地域や泉南地域、どこも同じように課題があるのにこの地域以外は管轄外なので回れないというジレンマがありました。大阪府下全体でこういった活動を広げていきたい、という想いから、今年の4月に別法人として立ち上げたのが一般社団法人にわフードバンク「しっかり食べや」です。

## 「しっかり食べや」という言葉に込めた温もり

磯 法人名とホームページに掲げている「しっかり食べや」という言葉にはどんな意味が込められているのでしょうか？

## 目的を伝えることから始まり、 課題と向き合う日々

磯 ロゴが大阪のおかんのような温かさを感じます。

松岡 現在は3つの主要団体を中心に、計10団体が「しっかり食べや」を支えてくれています。ホームページにある「なにわフードバンク」ロゴマークは立ち上げ時から関わってくださった読売テレビさんが「何か協力したい」とご提案くださったものです。"おかん"のロゴも同じくご提案いただきました。団体ができるまで生協の関係各所や地域のNPO法人、大阪府農業協同組合中央会、大阪府森林組合、そしてマスコミも含め

おかんロゴマーク



て連携しながら立ち上げに至りました。  
磯 団体の立ち上げにはご苦労も多かったのでは？

松岡 ええ。今でも課題は山積みです。7年間で支援団体は100を超えましたが、食材の提供は企業や団体からの寄贈に頼っています。また、職員9名は全員が生協からの出向者です。フードバンクは収益性がゼロの為、輸送や倉庫のランニングコストが常に課題となります。活動すればするほど費用がかさむ、そんな厳しい現実もあります。ですから、団体からの寄付に支えられているのが現状です。それでも、「続けること」そのものが支援の証だと思っています。

磯 各団体の理解、説得にかなり時間を要します。

意味を強く感じています。

未来への展望も「たいないを  
ありがとう」に変える社会へ

磯 組織として今後どんなビジョンを描いていますか？

松岡 現在は一般社団法人ですが、年度内には公益社団法人への移行を目指しています。公益社団法人になることで税制の優遇が受けられ、社会的な信頼性も高まります。そうなれば、子どもや若者、シングルマザーといった層への支援をさらに広げていけるはずだと思いますか？

松岡 今の日本のフードバンクは民間の努力に頼る部分が大きい。私は以前、米国オレゴン州のフードバンクを視察しました。そこでは州と企業が協力し、国営に近い規模で運営されています。日本でも行政との協力を深め、同じような仕組みに近づけたいと思っています。

磯 最後に、読者に伝えたいことをお願いします。

たのではないですか？

松岡 2年前から準備をしてきました。手続き上は簡単なのですが事業の目的を団体に説明するのに時間を要しました。

若者・企業・行政とともに  
広げる支援の輪を西成区から

磯 支援先となる団体にはどんな条件があるのでしょうか？

松岡 どこにでも、というわけではなく、子ども食堂などでも、まずは実績があり、自立して運営できている団体を優先しています。支援先の現地にも私自身が足を運び、運営状況を確認します。フードバンクに依存するのではなく、地域で支え合う仕組みを作ることが大切だと思っています。

磯 支援を受ける側の変化、効果は感じますか？

松岡 まだ十分な量を届けられてはいませんが、「誰かが支えてくれている」という実感が、安心感につながっていると感じます。その実感を持ってもらえることが大切ですね。

ます。

松岡 大阪の子どもの貧困データはあっても、実態は見えにくいまです。私たちの活動を通じて、「今、子どもたちの食がどんな状況にあるのか」を知ってください。そして、支援の輪が広がっていくようご協力お願いします。

磯 ありがとうございます。

仕分けボランティア



磯 こうした取り組みに共感して関わる若者も増えてきているようですが、どんな関わり方がありますか？

松岡 年間に2〜3人ほど、学生がボランティアや卒論テーマでの取材、サークルなどで関わってくれます。仕分け作業を手伝ったり、活動を学びに来たりしました。もっと活動を広げていきたいです。

磯 今後、新たに取り組みたいことはありますか？

松岡 行政と連携した「フードドライブ」です。市や各区に回収箱を設置し、寄付された食品を有効活用する仕組みを作っています。これをもっと多くの地域に広げ、地域全体でフードロスを減らしていきたいと考えています。

磯 フードロス問題ですね。先ほどお話にもありました「西成」という地域に拠点を置く理由は？

松岡 西成という地域には、独特のコミュニティの力があります。学校や行政、民間団体がごく自然につながり合い支え合っている。7年間の活動を通して、ここに拠点を持つ

.....

取材を通して、理事長の松岡さんの熱い想いとフードバンクの活動が「食の支援」が単なる配布活動ではなく、地域の人と人をつなぐきっかけになっていることがわかった。

集まった食品が誰かの笑顔を生み、その温もりがまた次の支援につながっていく。「もったいない」が「ありがとう」に変わる。そんな循環を広げていくことが、地域の未来をつくる一歩になると感じた。こうした取り組みを通じて、食に困る子どもたちが減り、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながっていくことを僕たち若者も願ってやまない。そしてこのコラムを通じて多くの人にこの想いが広がることを期待したいと思う。

文責・磯 拓哉

「取材協力」

一般社団法人  
なにわフードバンクしっかり食べや

〒557-0006

大阪府大阪市西成区津守3丁目6の40

TEL 06-4398-1284

FAX 06-4398-1286



ホームページ

更生の道の中で見つけた新しい「表現」のカタチを  
よりそいネットおおさが紹介します。

# あなたの センスに あっぱれ!

第7回 誰もがアーティストになれる場所

これまで3回にわたって準備の様子をお伝えしてきた「Power of Art 2025」。今回はそのフィナーレとなる展覧会当日



の様子をお届けします。関西大学所ゼミが「関西大学と堺市の地域連携事業」として昨年に続き取り組んできたこの企画は、タイトルを「再出発した人々」と「表現するPower of Art 2025」と改めて開催されました。当日は作品展示とワークショップが行われました。学生たちは4月から準備を重ね、アーティストとの交流を重ねて理解を深め、「いっしょに」作品を制作する場としてワークショップを企画するなど、時間をかけて丁寧に進めてきました。

今年の展示会には、初めて出展するアーティストが多く参加しました。苔



を使ったテラリウムを制作するサモンテールさんや、鮮やかなバスの絵を描いたKYさんもその一人です。それぞれが出所後の生活のなかで出会った「表現」という手段を通じて、思いを作品に込めていました。また、大阪府外・香川県からの出展もあり、活動の輪が少しずつ広がっていることを感じました。

昨年に続いて出展された方々もおられます。河内長野市にある救護施設「みなと寮」で生活するアーティストからは、今年もたくさんの陶芸作品が届きました。愛らしい作品の数々からは、丁寧に土と向き合う姿が想像できるほか、自身の衣

服やスケッチブックに描かれた絵の作品も並び、日々を大切に過ごす様子が伝わってきました。

展示で大切にしているのは、昨年と同じく「応答すること」です。学生たちはアーティストの作品を見つめ、その思いを受け止めながら、自分なりの表現で応答する作品を制作しました。会場では、来場者の方々も作品を見て感じたことを言葉や絵で表すなど、それぞれのカタチで「応答」を重ね、作品から感じられるアーティスト一人ひとりの「再出発の物語」に身を寄せていました。

今年の展示で目を引いたのは、ワークショップで一緒に制作した作品たちです。アーティストと学生が肩を並べて作り上げたその作品は、特別な技術や才能を問わず、誰もがアートを楽しみ、表現できることを教えてくれます。自分の思いを形にし、誰かに届けること

——その瞬間、誰もがアーティストになるのだと感じました。

展覧会終了後、次なる企画に向けた振

## 一般社団法人よりそいネットおおさか

〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4-15  
大阪府社会福祉会館2階  
TEL/FAX: 06-6711-0130  
HP: <https://www.yoriso-osaka.jp>

よりそいネットおおさは、刑務所等の矯正施設を退所した人たちの支援や、支援者との関係づくりに取り組み、ネットワーク型の福祉構築を目指した活動を行っています。



り返り会が開かれ、学生とアーティストが同じ場で感想を共有し合いました。作品を通して出会い、共に時間を過ごした経験は、それぞれの心に静かな余韻を残したことでしょう。

次はどんな形で再び出会うのでしょうか。アートの力を通じて人と人がつながり、新しい一歩を踏み出す場所として、この取り組みが少しずつでも広がっていくことを願っています。



【笹川勝正】新撰組が大好きなのですが、新たにスマホで読み始めた「青のミプロ」が面白いです！オリキャラがいるので、敬愛していましたがこつこつポイントを貯めて読んでいます。



【沖田一志】仕事で使ってるデスクトップPCを更新。2015年春ごろにWindows7で使い始め、その後Windows10に入替、さらにパーツ交換を重ねて10年が経過。よく使い続けたものだ感慨深い。



【磯拓哉】早いもので12月ですね。今年を振り返ってみると環境が変わったり、色んな事にチャレンジした年でした。来年はどんな1年になるのかなあ。1月は抱負を書きたいと思います笑



【住友宣夫】気づけば12月、あっという間の1年でした。今月は片付けや多くの行事で慌ただしいですが来年に向けて頑張っていきたいです！



- おかん はあ…。もう年の瀬や。今年は国勢調査を手伝うことになってな。
- ◆ 息子 今日は展開、早いな。
- まあ、みんな、国勢調査のことよくわかってんへんわ。回答が義務やっても知らん。拒否したら罰金50万円ってこともあんねんで。
- ◆ えっ？ それは知らなかったわ。
- あんまり酷かったらやけどな。罰金のことは書いてある。
- ◆ たしかに国勢調査はしたほうがええと思うな。
- そうやで。たとえば、国勢調査の結果で災害時の物資の配分が決まるから、10%の回答率やったら必要分の10%しか来ないかもやで。
- ◆ そら、大切な。で、手伝いってどんなことしたん？
- まずな、区役所から調査票と白紙の名簿と担当地区の地図を渡されて、全部が紐づくように番号を振っていく。そうやってから担当地区の全世帯に渡していくねん。番号を揃えたり地図を作ったりするのが大変やったわ。
- ◆ えらい手間のかかる仕事やな。
- それだけやない。国勢調査は3カ月以上住んでる所で回答せなあかんから、私らもその人が住んでいるのを確認して渡さなあかん。
- ◆ そこまですんの？
- で、配布結果を一度、区役所に報告。提出

状況は区役所が把握してるから、提出してない世帯があったら私らがもう一回確認しに行かなあかん。

- ◆ こき使われとるな（苦笑）
- ほんまやでえ。で、私のとこは8件ぐらいが外国人の世帯やってん。
- ◆ へえ。どこの国の人？
- ネパールとベトナムと、あとは何やったっけな、カメルーン。
- ◆ ほう。アフリカからも来てるんか。
- うん。英語しゃべれるし、「日本語わかる？」って言ったら「少し」って。
- ◆ そら、助かるな。
- カメルーンの人のとこへ2回目訪問した時、「今、忙しいから」って。けど、「あ、わかりました。じゃあ、ちょっとだけ」って返したら、「子ども寝てるうちにやりたい仕事いっぱいある」「そしたらちょっと2〜3分だけ」って粘ったら、結局、しばらくの間しゃべってしもうたわ（笑）
- ◆ 粘るねえ（笑）名前はカタカナで書くの？
- そう。聞き取れへんから「書いて」って頼んだらカタカナで書いてくれた。
- ◆ 協力的やね。
- 今回は社会勉強になったわ。どんな時にでも冷静に対応すること、挨拶は大事。
- ◆ おかんは「挨拶が大事」って結論多いな。
- でも、ほんまやで。近頃はゴミ捨てるのときに会うたら「おはよう」とか、商店街で会ってもニコッとして「こんにちば」って。今までなかったから嬉しいやん。
- ◆ たしかに。
- けど、楽しくはなかったな。二度とやりたくない。知らんけど…



今年もGCCKidsの熱い運動会が開催されました！年長さんのHAKAで勢いよくスタート。体操はもちろんのこと、毎日練習したダンスやかけこの成果をお父さんお母さんに披露。みんなの姿はいきいきと輝いていました。最後は先生からメダルをもらい、この日はみんなが金メダリスト。たくさん応援して、みんなで頑張った運動会になりました。



GO Kids International School



大阪市の住民参加型地域組織「地域活動協議会」の活動に橋を架けよう「近ツ橋【ちかつきょう】」

近ツ橋

南津守子どもデー



南津守地活協が主催の「第17回南津守子どもデー」（主催は南津守連合振興町会が南津守小学校で11月1日に開催されたので、取材にいった。

受付で参加料を払おうとする、なんと全てのブースで子ども無料。一緒に行った子どもたちは参加券を受け取り、遊びコーナーへ。グラウンドには紙すき体験やスーパーボールすくい、絵本読み聞かせにミニ消防車体験まである。スーパーボールすくいは紙が

丈夫なのか、子どもたちの腕前がとんでもないのか、器からあふれるほど取れていた。体育館に移動するとダーツやバレーボールなどに輪投げ、スマーボールなど盛りだくさん。気が付くと1時間以上も経っていた。喉が渇いたらしく、外の自販機にでも行くかと思いきや、食べ物ブースを発見。なんと子どもはジュースにたこ焼き、ベビーカーまで無料である。それもこれも、このイベントに協力しているボランティアのみなさんのおかげだろう。親子連れも多かったが、子どもたちだけの来場も多く見られた。きつと毎年の楽しみにちがいない。



【福井龍磨】今年で5回目の開催となる「OSAKA 太鼓EXPO」を堺まで見に行った。プロの和太鼓・篠笛奏者による2時間ほどのステージ。演奏の素晴らしいだけでなく、客席が満員だったことにも感激した。



【西田吉志】11月1〜2日、鶴見橋中学校の生徒会の学生と共に、宮城県石巻市を訪問。現地の方々から、ご遺族の願いや命を守る防災の大切さを学び、改めて震災の教訓を心に刻んだ。



【谷口円】過去の傑作映画を全国の映画館でリバイバル上映する企画が開催中。昔見てとても良かった記憶のある「アマデウス」も上映されるらしく、見に行く予定。天才に狂わされる人々の話が好きなんです。



【田岡秀朋】山の公園を管理する身として、クマ目撃情報が相次げば、スタッフ・利用者の安全確保が最優先。たまに利用者からクマらしきものの目撃情報があるのだけど、どうしようか。くまったもんだ。

# 葉っぱの吐き

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱとのお喋りを聞いてください。



## 「シクラメンの葉っぱ」の巻

感謝状  
シクラメン葉っぱ殿

あなたは寒い風が吹く日も冷たい雪が舞い散る日もわたしを優しく包んでくれましたあなたの大きな手はとても温かく安らぎましたわたしはそれのおかげできれいな花を咲かせましたこれもひとえにあなたのおかげです心より感謝もうしあげます引き続きですが春がくるまでわたしの事をよろしくお願いいたしますシクラメンの花より

赤井まゆみ

### シクラメンのこと

サクラソウ科シクラメン属。多年草の球根植物で花色は多色。花言葉は花色によって様々。

# い湯がげん

## 混沌の政局に光を探す

小泉さんかなと思っただけなら女性初の高市首相、よもやの公明党の連立離脱、あれよあれよという間に自民と維新の閣外連立。政治の世界はやっばり一寸先は闇だった。

部落解放運動は、古くから社会党、民主党と名前を変えてきたが野党第一党を応援してきた。近年は、反自民は変わらないが、政党支持にはこだわらないというスタンスをとってきた。一方、大阪では維新が想定外に急伸長。自民も民主系も壊滅状態となり、たとえ好まざるとも維新が大阪を代表して、中央と対峙してきた。そう、自維連立に至った。「闇」かどうかは別に、一寸先さえわ

からないのが政治だ。だからこそ、「平和と人権と生活」という自分たちの「出自」に常に立ち返って、政治にしっかりと向き合っていきたいと思う。いま、公明党や創価学会の皆さんも、同じ心境なのかもしれない。

そこで、喫緊の国会論戦で注目したいことがある。一つは、立憲民主党の掲げる「給付付き税額控除」だ。簡単に言うと、(相対的に)所得の高い人には「減税」し、所得の低い人には逆に現金を「給付」することで格差を是正し、法人税や高所得者課税を見直して財源を確保するものだ。これは構造的な改革なんだが、与野党問わず賛同者は意外に多く、実現の可能性

はある。ボクは、立憲を丸ごと応援する気はないが、この政策は立憲民主党の真骨頂、野党第一党らしい政策として期待する。

国民民主党は「手取りを増やす」でブレイクした。ボクがこの党に期待しているのは、民間労組と友好関係にあり、介護やパート、女性の労働者の要求を一番代表してくれそうな点だ。ここで詳しくは書けないが、最賃は1500円になれば良いだけでなく、原資になる労働単価が適正に支払われ、また労働時間の時短と連動するものでなければならぬ。この点をリアルに主張できるのが、国民民主党だと期待する。

与党になった大阪代表の維新は副都法成立をめざしている。懸案の東京一極集中の打破というわけだ。法成立の後には、大阪こそ副首都に相応しい「都市格」を備えたいと、府市一元化の完成(大阪都構想)を考えているようだ。焦点は、「はたして大阪市を残したままの一元化では都構想にはならないのか」だと、ボクは

「NHKから国民を守る党」党首・立花孝志容疑者が逮捕された。兵庫県知事の出直し選挙をめくり、YouTubeなど様々な媒体での彼の誹謗中傷が竹内元県議を自死に追い詰めた。それを受け、遺族の奥様が名誉毀損で刑事告訴されたのであった。

立花容疑者は自身の発言を認めつつ、「誹謗中傷で自死するような人は政治家をめざすな」といった趣旨も発言している。この発言は、ネット上の誹謗中傷やいじめで自死した人達に向かって「弱い君が悪いんだ」と言うに等しく、到底容認できるものではない。

これまで何年も私たちは大阪府や国にネット上での人権侵害を防ぐための法整備を求めてきた。しかし、いつも「言論の自由」が問題になり、前進を阻まれてきた。いまこそ「自由とは何か」を考える時である。言論の自由は大事だが何でも「自由」であるはずがない。国会には人の命と尊厳を守る法整備を強く求める。(寺本良弘)

# 皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちに皮算用していることを語っていくよ。



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。



[若松司] 社会の底抜け感が基だしい昨今、ようやく立花孝志が逮捕された。これに絡む案件はいまも蔓延っている。来年はいくぶんか巻き返しがあるのだろうか。



[山村裕太] ノロとインフルエンザを混ぜたような症状になり病院へ。胃腸炎でしたが、看護師さんの対応が親切すぎて、居酒屋であれば「また来ます!」と言っているところでした。

地域の縁を心でつなぐ

# 松崎ごい 心の時間

檀家のNさんは幼い頃に両親が離婚して母親・妹と離ればなれになってしまいました。自暴自棄になった父親が酒におぼれて子育てを放棄したため、Nさんは18歳まで児童養護施設で過ごすことになりました。数年前、その父親の葬儀がご縁で親しく話をするようになり、先日「父親を怨んでいませんか？」と尋ねると――

「確かに、何度も怨みましたが、自分にも子供が生まれると、子供を捨てざるを得なかった父親の悲しさが少しずつ分かるようになりました。きつと色々な事情を抱えながらもその時の精一杯だったんだと思うと、怨みが静かに消えてゆきました」。

「憎悪は憎悪によつては止まず、ただ愛によつてのみ止む」は、1951(昭和26)年サンフランシスコ講和会議でスリランカ代表がお釈迦様の言葉を引用し、対日賠償請求を放棄した名言です。Nさんも自分の子供への愛を知り、その愛を基に智慧を深め、父親への憎悪を止めたと言えましょう。お釈迦様の言葉と同じことをしたNさんはすごい人です。

松向寺 通法

写真は人生の一部が映ったもの。

ここは思い出や自慢の1枚を少しご紹介するコーナーです。

## ウタリ の1枚

📷『いざ、初陣!!』

11月2日(日)、この夏に創設した草野球チームがついに初の公式戦を迎えた。大会初戦という緊張と高揚の中、私は6番セカンドで出場。仲間と声を掛け合い全力プレーの甲斐あって結果は見事初勝利！ みんなでつなぐ野球の楽しさと、大人になっても夢中になれる喜びを感じた。そんな一枚。

(編集スタッフ 磯拓哉)

先・後 打順表

一・三塁側

平成7年11月2日( ) 球場)

対戦相手: 2スト・スズ

チーム名: EBS

大会名:

| 打順 | 位置 | 選手名  | ふりがな | 背番号 |
|----|----|------|------|-----|
| 1  | 1  | 磯(拓) | いそ   | 10  |
| 2  | 5  | 光本   | みつもと | 16  |
| 3  | 2  | 平岡   | ひらおか | 9   |
| 4  | 3  | 飯上   | いとう  | 11  |
| 5  | 6  | 馬場   | ばんば  | 98  |
| 6  | 4  | 磯(拓) | いそ   | 2   |
| 7  | 7  | 飯本   | いへもと | 27  |
| 8  | 8  | 清水   | しみず  | 7   |
| 9  | 9  | 八尾   | やお   | 8   |

smile

## ゆーとあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆーとあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？ お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび12月号(vol.226)  
発行日:2025年12月1日(創刊日:2007年1月1日)  
発行:株式会社ナイス  
住所:大阪市西成区長橋3-6-33  
電話:06-6563-1150  
E-mail:info@nice.ne.jp  
url:https://www.nice.ne.jp/

編集長:西田吉志  
編集:磯拓哉、沖田一志、笹川勝正、住友宣夫、田岡秀朋、福井龍磨、山村裕太、若松司(あいうえお順)  
イラスト:hidarimaki、西井亜花梨  
デザイン:谷口円

(株)ナイス  
ホームページ

